

III 事業概況

1 上水道施設の状況

(1) 取水施設

水 源	所 在 地	口 径	深 度	竣工年月	地 積	土地所有者
第 1水源	中町3-9	300 mm	200 m	33. 10	15. 58 m ²	武蔵野市
第 2水源	吉祥寺北町3-5	300	125	28. 9	74. 98	水 道 部
第 3水源	吉祥寺北町5-6	300	187	29. 9	47. 00	武蔵野市
第 4水源	吉祥寺北町4-11	300	250	平 7. 9	第一浄水場内	〃
第 5水源	吉祥寺北町5-11	300	230	32. 9	247. 97	〃
第 6水源	緑町2-3	300	200	33. 5	142. 01	水 道 部
第 7水源	関前5-19	400	250	46. 12	110. 24	武蔵野市
第 8水源	境4-7	300	200	36. 3	49. 58	水 道 部
第 9水源	桜堤1-7	300	250	平21. 3	18. 45	武蔵野市
第10水源	境5-6	300	200	36. 7	99. 17	水 道 部
第12水源	桜堤2-8	300	180	平20. 3	100. 00	武蔵野市
第13水源	八幡町3-5	300	250	36. 10	22. 52	〃
第14水源	関前3-16	300	250	37. 2	27. 37	水 道 部
第15水源	西久保3-13	300	250	36. 9	39. 00	武蔵野市
第16水源	中町1-27	300	250	37. 2	25. 98	水 道 部
第17水源	吉祥寺本町3-27	300	228	37. 5	17. 34	武蔵野市
第18水源	吉祥寺本町4-17	300	200	平19. 1	8. 16	〃
第19水源	吉祥寺北町3-13	300	250	39. 3	59. 50	水 道 部
第20水源	関前2-10	300	290	37. 4	70. 04	武蔵野市
第21水源	関前4-5	300	250	37. 7	26. 44	水 道 部
第22水源	境3-24	300	250	37. 7	99. 17	武蔵野市
第23水源	境1-24	300	220	平17. 2	10. 53	〃
第24水源	桜堤3-22	300	250	平21. 3	34. 50	東 京 都
第26水源	吉祥寺北町4-11	400	250	44. 2	17. 00	武蔵野市
第27水源	桜堤1-6	400	250	44. 10	第二浄水場内	水 道 部
第28水源	境3-22	300	250	平21. 3	89. 02	〃
第29水源	中町3-9	300	200	平14. 10	30. 00	武蔵野市

※ 第11水源は昭和46年3月廃止、第25水源は昭和54年12月に災害用井戸として市に譲渡

※ は、災害用井戸として自家発電装置を併設

(2) 水道部庁舎等及び土地

名 称	所 在 地	建 物		土 地	
		延面積	内 訳	地 積	所 有 者
水道部庁舎 (昭和49年8月竣工)	吉祥寺北町 4-11-46	m ² 672.4	m ² 鉄筋3階建 1階 178.9 2階 250.5 3階 228.5 PH階 14.5	m ² 726.85	水道部
第一浄水場 (昭和29年9月竣工)	吉祥寺北町 4-11-46	780.3	鉄筋2階建 1階 278.0 2階 326.4 他付属施設 175.9	5,096.15 1,290.16 計 6,386.31	水道部 武蔵野市
第二浄水場 (昭和34年3月竣工)	桜堤 1-6-6	920.1	鉄筋3階建 1階 358.2 2階 350.5 3階 79.8 他付属施設 131.6	5,809.63	水道部
八幡町倉庫・ 資材置場 (平成11年9月竣工)	八幡町 1-6-6	177.0	倉庫鉄骨2階建 1階 67.5 2階 67.5 車庫 42.0	435.61	水道部
各水源		27.1	取水ポンプ室 (第2, 6水源)	594.05 853.00 34.50 計 1,481.55	水道部 武蔵野市 東京都
計		2,576.9		12,662.29 2,143.16 34.50 借地計 (2,177.66) 総計 14,839.95	水道部 武蔵野市 東京都

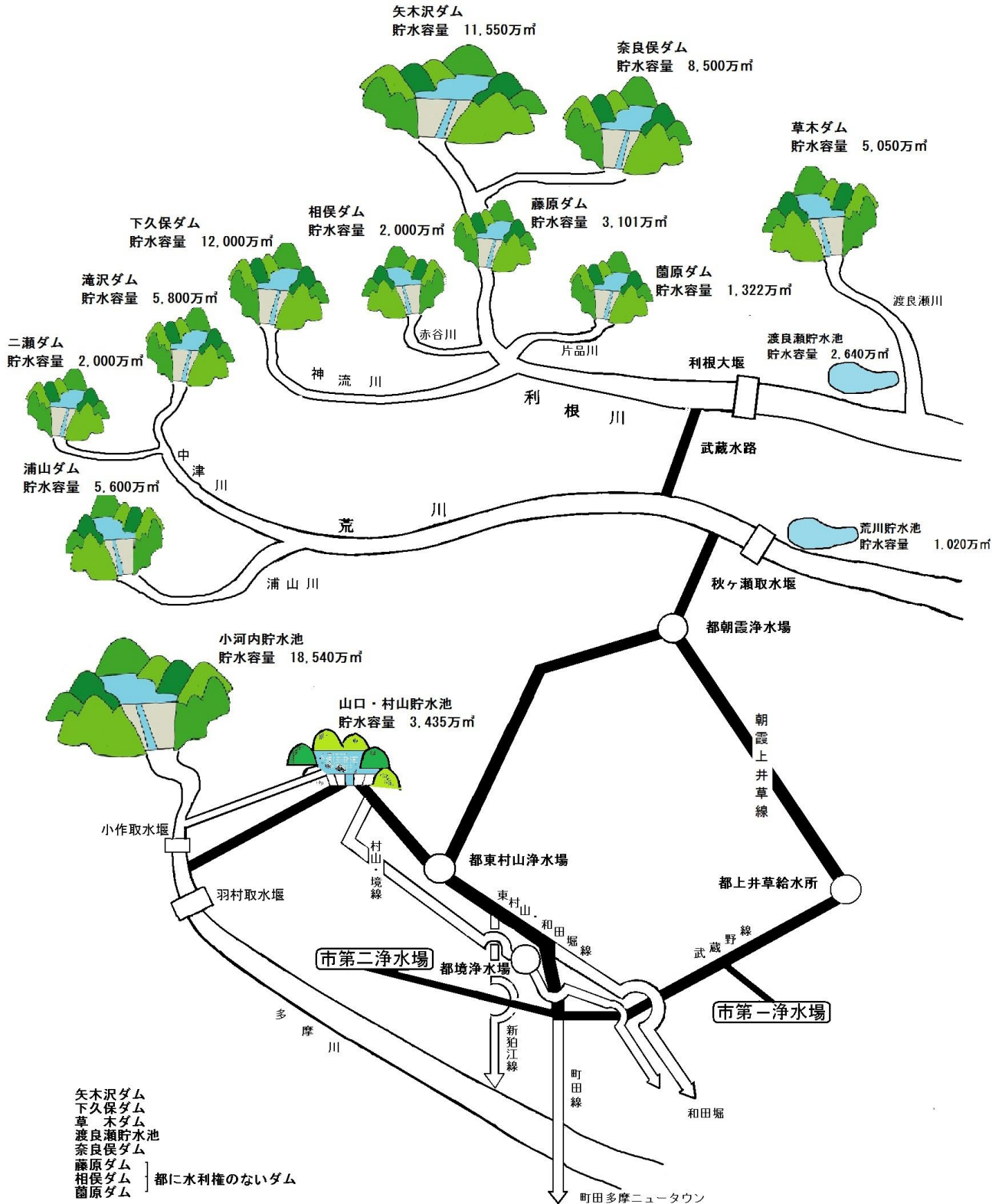
(3) 浄水場施設の概要

区 分	第 一 浄 水 場		第 二 浄 水 場	
所 在 地	吉祥寺北町4-11-46	竣工	桜堤1-6-6	竣工
配 水 池	1,440 m ³ (矩形) × 2池	S29	1,650 m ³ (矩形) × 2池	S34
	4,465 m ³ (矩形) × 1池	S41	1,550 m ³ (矩形) × 1池	S42
容 量×池 数	4,000 m ³ (円形) × 1池	S43	3,000 m ³ (円形) × 1池	S42
	計 11,345m ³		計 7,850m ³	
配水モーター ポンプ能力	75kW(水中)、7.0 t /分×4台	H23	75kW(陸上)、7.7 t /分×4台	S59
	75kW(陸上)、8.2 t /分×4台	H 2	75kW(陸上)、8.2 t /分×4台	H元
滅 菌 装 置	次亜塩素酸ナトリウム注入装置 (12%濃度)	H25	次亜塩素酸ナトリウム注入装置 (12%濃度)	H13
自家発電装置	最大出力 350kW×1台(ガスタービン) 燃料 A重油(3,900ℓ) ※H23に1,950ℓ増設	S63	最大出力 300kW×1台(ガスタービン) 燃料 A重油(3,900ℓ) ※H23に1,950ℓ増設	S61
震災対策装置	地震計1台、緊急遮断弁2基	H15	地震計1台、緊急遮断弁2基	H15
除鉄・除マン ガンろ過装置	最大処理能力19,300m ³ /日	H11	最大処理能力13,400m ³ /日	H13

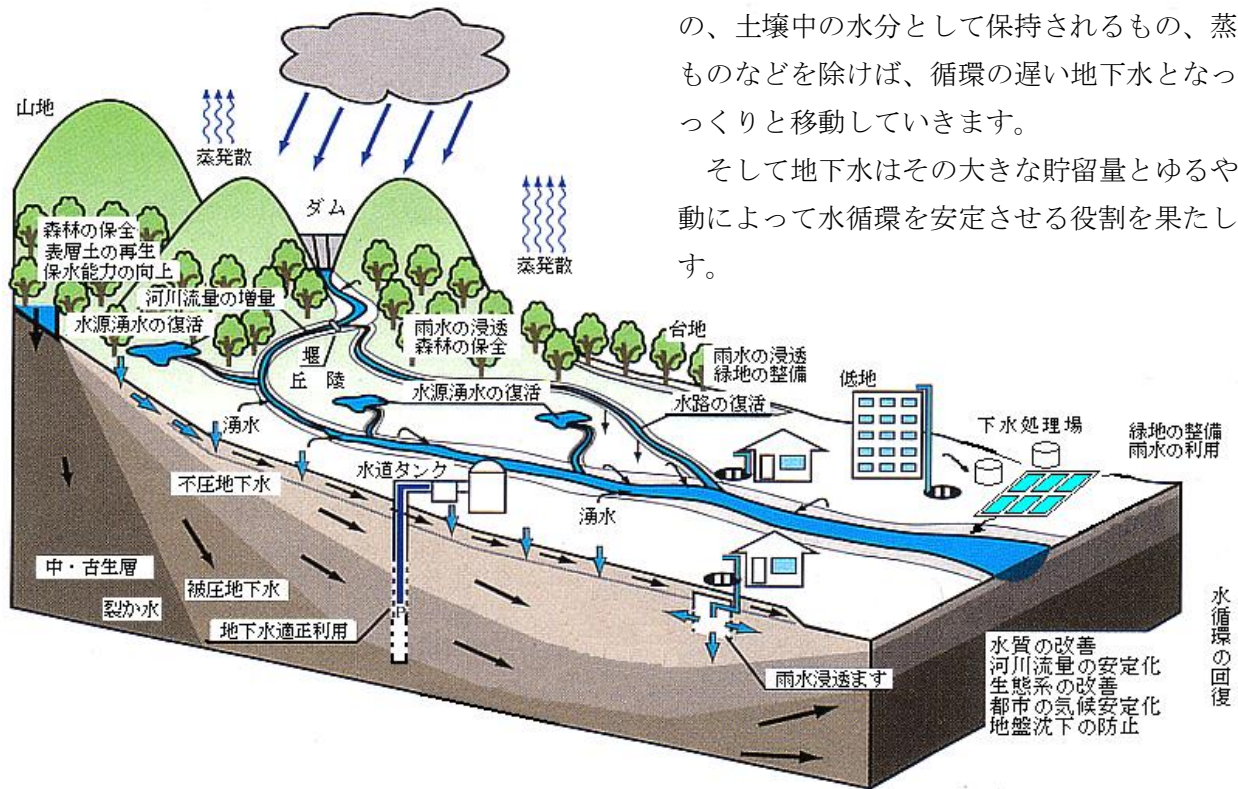
(4) 飲料水兼用耐震性貯水槽設置箇所

設 置 場 所	所 在 地	容 量	設 置 年 度
南町防災広場	吉祥寺南町5-6	60 m ³	平成11年度
吉祥寺西公園	吉祥寺本町3-7	100 m ³	平成13年度
境南町防災広場	境南町3-20	60 m ³	平成15年度
吉祥寺南町コミュニティセンター	吉祥寺南町3-13	60 m ³	平成21年度
都立武蔵野中央公園	緑町2-6	100 m ³	平成27年度

(5) 都水系統図



(6) 水の循環における地下水の役割

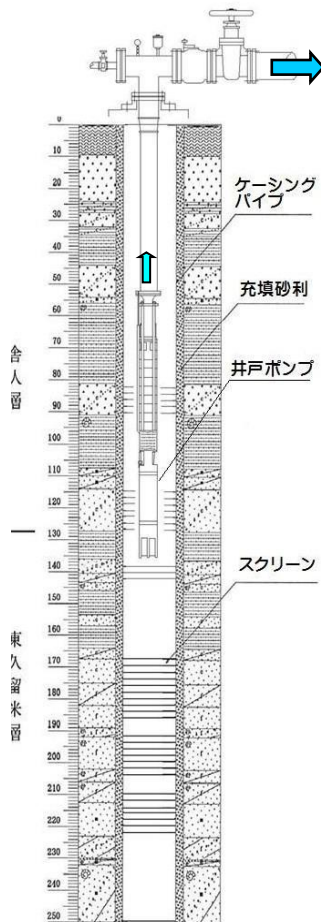


地下に浸透した雨水はその後河川に流出するもの、土壤中の水分として保持されるもの、蒸発するものなどを除けば、循環の遅い地下水となって、ゆっくりと移動していきます。

そして地下水はその大きな貯留量とゆるやかな移動によって水循環を安定させる役割を果たしています。

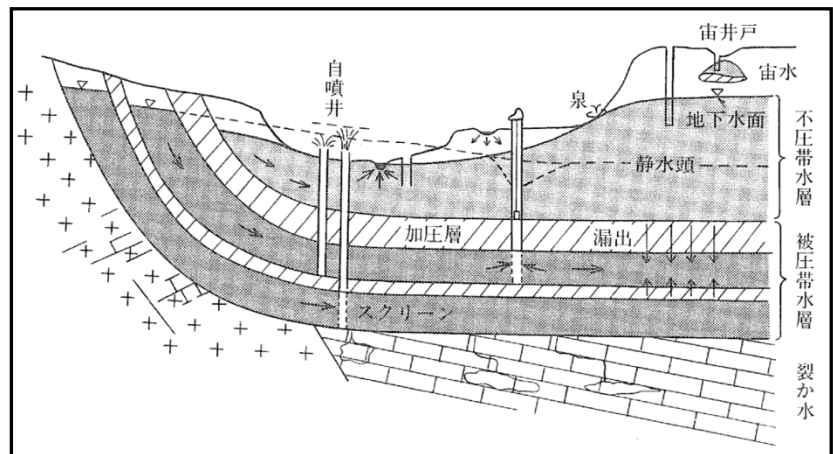
(7) 深井戸の構造と柱状図

地下水何でもしおりより



柱状図

(8) 地下水の賦存形態



- ・不圧地下水 不圧帯水層中に地下水面を持つ地下水（浅層地下水や自由水面地下水と呼ばれることもある。）例 浅井戸
- ・被圧地下水 上下を難透水層に挟まれ、加圧された状態で帯水層中に閉じ込められている地下水（武蔵野市の水道水源で汲み上げられている地下水）例 深井戸
- ・裂か水 岩石や地層の割れ目や空洞中に含まれている地下水

(9) 導水・送水・配水管路延長

(単位 m)

	口径 (mm)	耐震継手管	非耐震継手管	小 計	非耐震継手管				計	
		ダクタイル鋳鉄管(FCD)			鋳 鉄 管 (FC)	ステンレス鋼管 (SSP)	硬質塩化 ビニル管 (VP)	その他		
導水管	75	18.3	3.3	21.6					21.6	
	100	174.6	79.2	253.8	47.5	7.5			308.8	
	125				19.9	0.7		1.1	21.7	
	150	975.3	724.3	1,699.6	2.5			10.7	1,712.8	
	200	3,440.9	3,244.2	6,685.1	171.2	1.2		5.5	6,863.0	
	250	3,988.3	1,661.4	5,649.7	28.1				5,677.8	
	300	180.8	6.0	186.8	10.2				197.0	
	350	1,475.7	53.9	1,529.6	212.5				1,742.1	
	計	10,253.9	5,772.3	16,026.2	491.9	9.4		17.3	16,544.8	
	比率	62.0%	34.9%	96.9%	2.9%	0.1%		0.1%	100.0%	
送水管	400		103.3	103.3	15.1				118.4	
	600		1,698.7	1,698.7	13.2			326.2	2,038.1	
	計		1,802.0	1,802.0	28.3			326.2	2,156.5	
	比率		83.6%	83.6%	1.3%			15.1%	100.0%	
配水管	配水補助管	50以下				5,095.3	31,701.2	191.6	36,988.1	
		S50	3,429.4		3,429.4				3,429.4	
		計	3,429.4		3,429.4		5,095.3	31,701.2	191.6	40,417.5
		比率	8.5%		8.5%		12.6%	78.4%	0.5%	100.0%
	配水小管	75	49,628.5	2,056.9	51,685.4	31.7			38.1	51,755.2
		100	34,328.8	41,500.3	75,829.1	1,179.5	8.7		15.4	77,032.7
		150	11,561.4	35,998.8	47,560.2	708.9	5.1			48,274.2
		200	14,988.7	10,615.4	25,604.1	935.8	8.3		241.5	26,789.7
		250	5,130.4	4,742.2	9,872.6	679.2	17.6		93.9	10,663.3
		300	4,017.0	4,363.0	8,380.0	1,220.8			6.3	9,607.1
		350	1,326.8	657.7	1,984.5	851.4			11.2	2,847.1
		計	120,981.6	99,934.3	220,915.9	5,607.3	39.7		406.4	226,969.3
	比率	53.3%	44.0%	97.3%	2.4%	0.1%		0.2%	100.0%	
	配水本管	400	124.1	3,592.3	3,716.4	3,306.3			25.7	7,048.4
		450	31.0		31.0				4.3	35.3
		500	110.2	2,055.2	2,165.4	1,207.9			51.6	3,424.9
		600	55.1	398.5	453.6				58.6	512.2
		計	320.4	6,046.0	6,366.4	4,514.2			140.2	11,020.8
		比率	2.9%	54.9%	57.8%	40.9%			1.3%	100.0%
	配水管計	124,731.4	105,980.3	230,711.7	10,121.5	5,135.0	31,701.2	738.2	278,407.6	
	比率	44.8%	38.1%	82.9%	3.6%	1.8%	11.4%	0.3%	100.0%	
	合 計	134,985.3	113,554.6	248,539.9	10,641.7	5,144.4	31,701.2	1,081.7	297,108.9	
	比 率	45.4%	38.2%	83.6%	3.6%	1.7%	10.7%	0.4%	100.0%	

- (注) 1 耐震継手管のダクタイル鋳鉄管は、NS形、SⅡ形、S形、KF形、GX形、S50形である。
2 非耐震継手管の、ダクタイル鋳鉄管はA形、T形、K形である。
3 その他の管種は、鋼管等である。